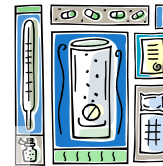


精神医療と作業療法の歴史的変遷

Hiroshi Yamane ; OTR, PhD
Society of Human and Occupation-Life ; SHOL



1

わが国の精神保健の歩み 1900-50年代



1900	精神病者監護法公布	私宅監置	
1902	呉秀三		移導療法
	森田正馬		
	加藤普佐次郎		作業治療
	管修		作業療法の奏功機転
1930	長山泰政		Simonの積極的療法
1950	精神衛生法公布		
1954	精神病院設置国庫補助	精神病院ブーム	
1956	生活療法	(しつけ療法+働き療法+遊び療法)	

2

わが国の精神保健の歩み 1960-80年代

- 1964 ラインジャー事件
- 1965 精神衛生法改正 保健所業務に精神衛生
理学療法士・作業療法士法成立
- 1974 診療報酬点数新設
身障(簡単40,複雑80),精神30,精DC60
精神神経学会点数化反対
- 1980 ICIDH国際障害分類 障害を構造として捉える
- 1982 老人保健法 治らない病気も医療の対象に
- 1984 宇都宮病院事件 無資格看護者による撲殺
- 1988 精神保健法施行 人権擁護と社会復帰

3

わが国の精神保健の歩み 1990年代



- 1993 障害者基本法(精神障害に同等の権利)
精神保健法一部改正 グループホーム
病院地域精神医学会でOTセッション
- 1995 精神保健福祉法(自律と社会参加)
- 1996 障害者プラン(数値目標を上げた施策)
- 1999 精神保健福祉法改正 精神障害者在宅支援

4

わが国の精神保健の歩み 2000年代

- 2000 公的介護保険制度実施
- 2001 ICDHをICF国際生活機能分類に改定
- 2002 居宅生活支援事業
 - ヘルパー ショートステイ グループホーム
 - 市町村で障害者対応
 - 身障保険点数の抜本的改訂
- 2003 障害者基本計画
- 2004 精神保健医療福祉の改革ビジョン
- 2005 医療観察法施行
- 2006 障害者自立支援法施行
- 2013 障害者総合支援法

5

障害者基本計画のキーワードを読む

自己選択と自己決定(自助)
 ICF国際生活機能分類の活用
 共生社会(共助)
 社会のバリアフリー化
 ケアマネジメント
 施設から地域へ(脱施設化)
 専門職種の質的・量的充実
 精神障害者の障害者雇用率検討
 障害者の創業・起業等の支援

6

わが国の精神保健 20世紀100年の歩み

50年間 精神病患者監護法による私的監置

40年間 精神衛生法による公的監置

10年間 精神保健福祉法による人権 社会復帰 参加



21世紀 共生社会・地域生活

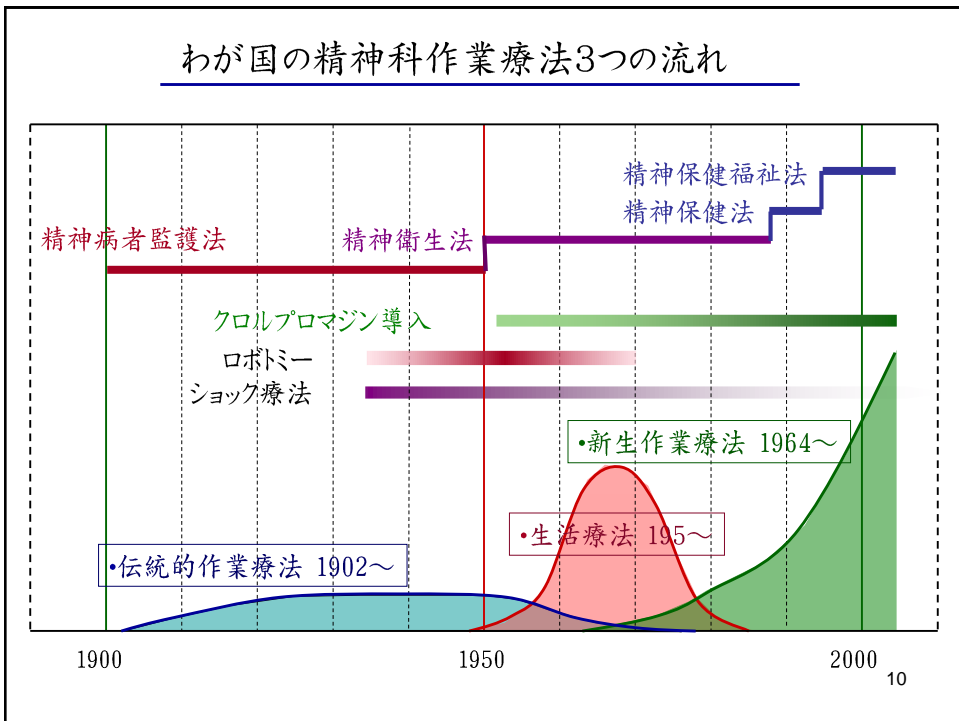
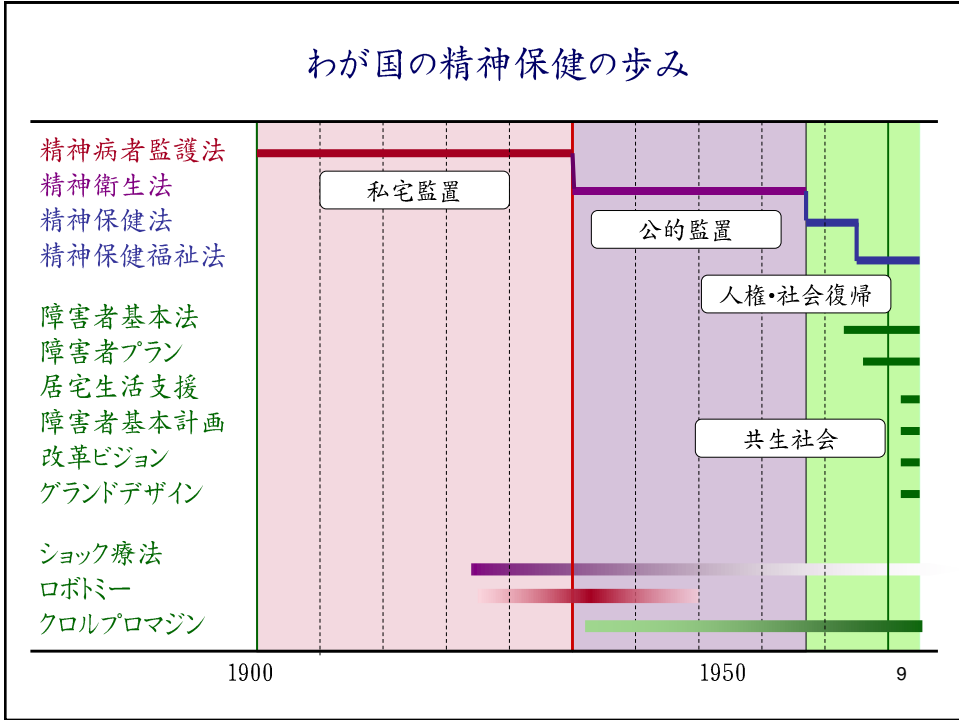
7

精神科治療法の歴史

- 1902 移導療法(呉 秀三)
- 1922 持続睡眠療法 発熱療法
- 1925 作業治療(加藤普佐次郎)
- 1935 インシュリン・ショック療法
カルジアゾール痙攣療法
ロボトミー(モニス)
- 1938 電気ショック療法
- 1950 (精神衛生法)
- 1951 クロルプロマジン
- 1956 生活療法
- 1965 作業療法

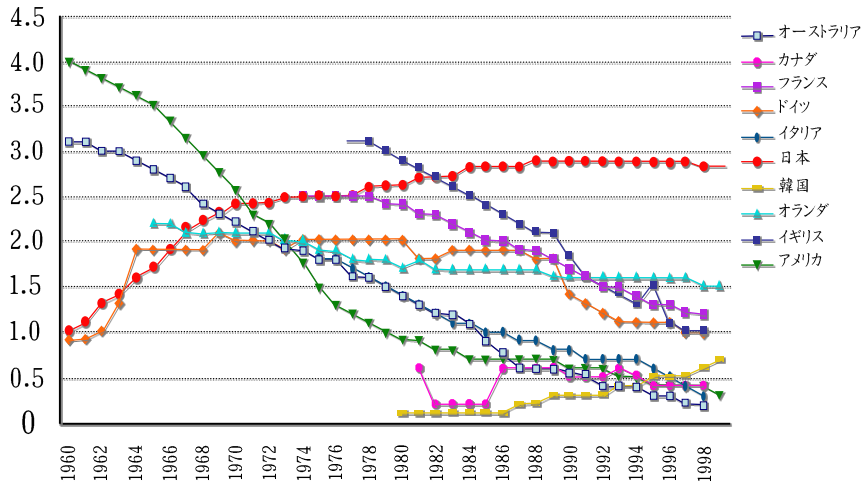


8



各国の病床数の変遷

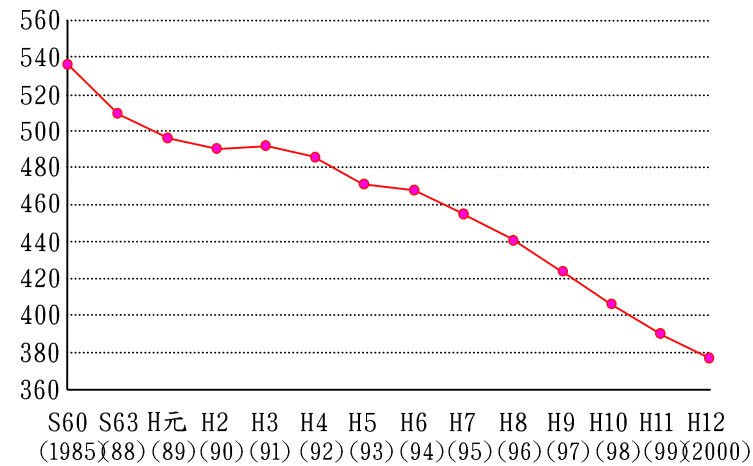
(床/1000人)



OECD Health Data 2001

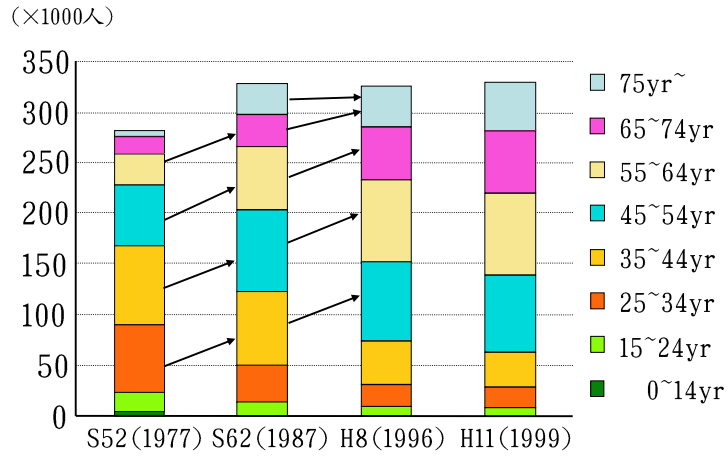
平均在院日数の推移

(日)



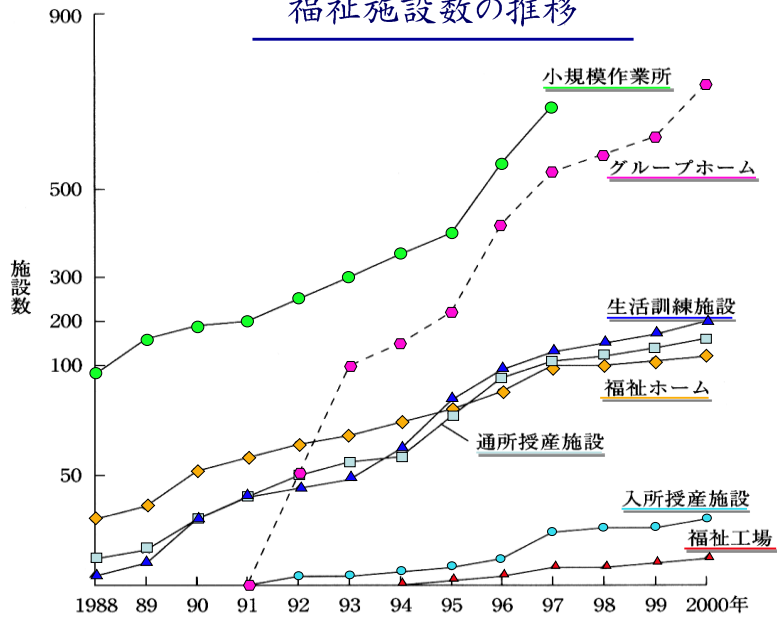
(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課資料)

入院患者年齢構成の推移



(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課資料)

福祉施設数の推移



(八木剛平, 田辺英: 日本精神病治療史. 金原出版, 2002)¹⁴

生活療法について

誕生:精神外科が体系化の契機(小林八郎,1956)

内容:しつけ療法+あそび療法+はたらき療法

効果:薬物療法もなかった当時の病院を活性化

問題:理論的背景の不備
個々の治療計画,治療契約の無視



病院作業 内職作業 外勤へと拡大
作業しぼり 収益の収奪 使役労働 集団管理

15

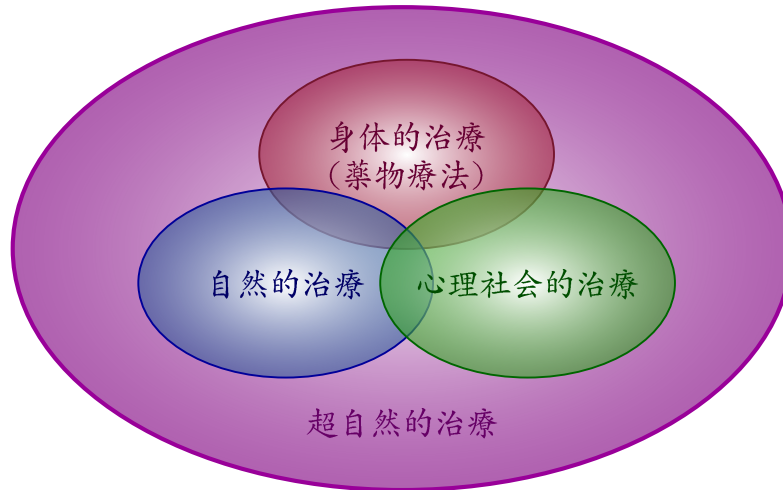
治療・援助の形態の変遷

身体医学的治療	[薬物療法 大身体療法(ショック療法,精神外科)
心理社会的治療	[認知行動療法 生活技能訓練 家族療法 精神療法 モラルトリートメント
自然的治療	[ホメオパシー 養生訓 健康訓
超自然的治療	[霊媒(シャーマン) 悪魔払い



16

治療・援助の形態と構造



17

リハビリテーションの分野



社会的リハビリテーション

職業的リハビリテーション
教育的リハビリテーション

医学的リハビリテーション

リハビリテーション医学

18

治療医学とリハビリテーション



機能障害の軽減

薬物療法

医学的リハビリテーション

生活技能の修得

教育的リハビリテーション

職業的リハビリテーション

よりよい体験

社会的リハビリテーション



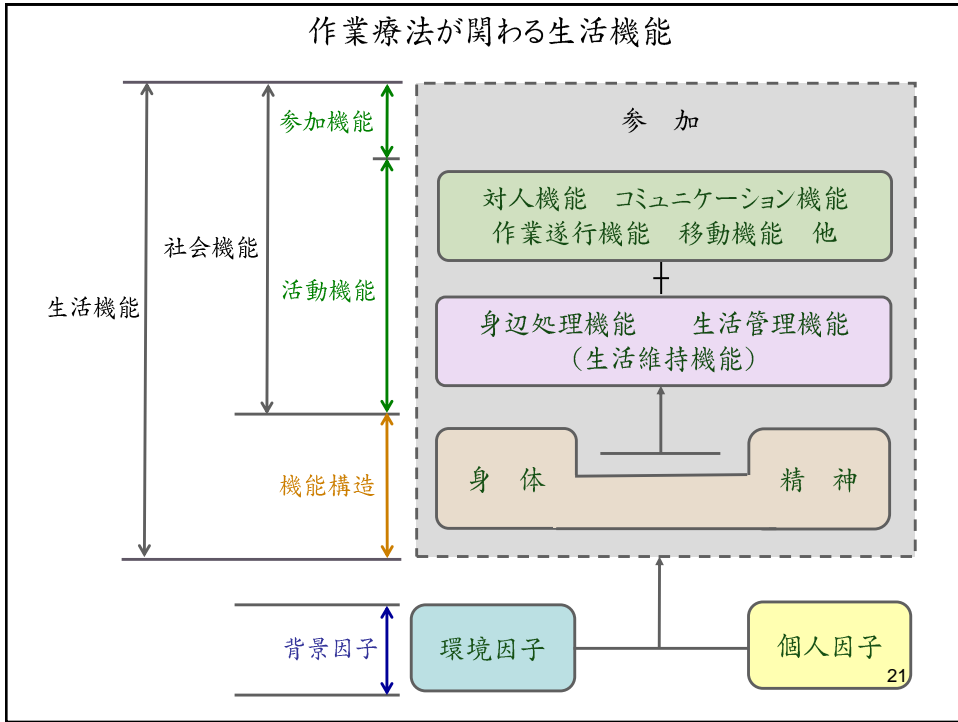
19

回復状態と治療・リハビリテーション

0 1~3M 6M

			急性期	回復期	生活期	緩和期
薬物療法			[Timeline: Solid pink line from 0 to 6M, dashed pink line from 0 to 6M]			
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	目 的 機 能	医学的	[Timeline: Solid green line from 0 to 3M, dashed green line from 0 to 3M]			
		教育的	[Timeline: Dotted blue line from 1.5M to 4.5M]			
		職業的	[Timeline: Solid blue line from 1.5M to 4.5M]			
時 期 状 態	早期	[Timeline: Dotted blue line from 0 to 3M]				
	回復期	[Timeline: Solid green line from 0 to 3M, dashed green line from 0 to 3M]				
	維持期	[Timeline: Dotted blue line from 1.5M to 4.5M]				
	終末期	[Timeline: Solid blue line from 1.5M to 4.5M]				


20



作業療法の形態とおこなわれる場

個人セッション [マンツーマン
グループセッション パラレル

<p>入院:急性期治療病棟</p> <p style="padding-left: 20px;">回復期病棟</p> <p style="padding-left: 20px;">療養病棟</p> <p>外来:精神科作業療法施設</p> <p style="padding-left: 20px;">デイケア施設</p> <p>地域:授産施設等福祉施設</p>	<p>— 入院早期作業療法</p> <p>— 入院回復期作業療法</p> <p>— 施設内維持期作業療法</p> <p>— 外来作業療法</p> <p>— デイケア内作業療法</p> <p>— 就労・生活支援</p>
--	--



22

作業療法士の役割



早期

身体感覚レベルによる安全の保障
自分と身体の関係性の回復
昼と夜のリズムの回復

回復期初期

身体による現実感の回復
基本的な心身機能の回復
基本的な生活維持機能の回復

回復期後期

自律に向けた生活適応技能の習得
人的資源の調整
社会資源の利用

